



TES会中部支部 第135回クレーム事例勉強会

検討年月日	2019/8/23		Bグループ					
品名(拡大写真)	ドット柄プリント巻エプロン							
 <p>MADE IN FRANCE</p>	組成	取扱い 絵表示 (旧表示)	103	201	301	401	501	601
	綿 100%		104	202	302	402	502	602
拡大		105		303	403		603	
		106		304			604	
		107						
		ネット			あて布			
		無蛍光						
		中性					タンブル禁止	
申し出クレーム内容	洗濯をしたら、縦方向を中心に黒い色泣きが発生した							
クリーニング処理法	家庭洗濯1回(詳細な条件は不明)							
グループ検討内容	[観察及び原因推察] ①縫い付けネームは日本国内用に付け替えられており、フランス製の表記がある ②ドット柄から色が染み出ているように見える ③綿素材なので、反応染料を使用したプリントと思われる ④プリント工程のどこかに問題があった(プリント温度、洗浄不足、乾燥温度不良、不適切なフィックス剤) ⑤色泣き箇所が帯状であることから、消費者が洗濯後湿ったまま放置していた可能性もある							
検査機関検討内容	[観察] 製品は黒色のプリントが施されたものである。シミは青味を帯びており、プリントの際部分から広がり発生している。製品全体にシミは確認できるが、所々に濃淡があり、直線状に発生している箇所や折れに沿うように発生している箇所が見られる。また、擦れたような不規則な形状も見られる [推測] ①洗濯中の湿潤によって、プリントから移染したものと推測される。特にプリントに使用された青味の染料が影響を与えていると考えられる ②また、シミの発生状況に形状の違いや、濃淡が見られることから、洗濯中の摩擦による移染や脱水後の湿潤状態から乾燥までに時間を要したために発生したブリードが同時に発生していたものと推測される [原因] プリント後の余剰染料が除去されていなかった。または、プリントの色止め不良							